

### 『新学期』

4月8日は花祭り。灌仏会(かんぶつえ)として、この日に生まれたという釈迦の誕生を祝う仏教行事である。様々な草花で飾った花御堂を作り、誕生仏の像に柄杓で甘茶をかけて祝う。この甘茶で習字をすれば上達すると言われ、甘ったるい味とともに、お世話になったお寺の保育園の風景、そして園長先生と奥様先生が懐かしい。感謝である。

新学期が、4月というのは、世界的に見れば珍しいのだということを知ったのは、そんなに昔のことではない。日本と同じ4月なのは、インドネシア、ペルーという、極く少数であり、アメリカ、イギリス、アイルランド、サウジアラビア、カナダ、カザフスタン、中国、イタリア、スペイン、フランス、ドイツ、オランダ、エジプト、香港、台湾、トルコ、メキシコ、キューバが9月である。隣国の韓国もアフガニスタン、アルゼンチンと共に3月であり、他に1月や2月、6月・8月・10月もあるという。

外国の例を持ち出すまでもなく、TV番組「秘密のケンミンショー」では、狭い日本の各県で、これほどまでの地域個性があるのかと驚かさ

れることが多い。各地から集まる人々の前で話す機会がある毎に、正月のお雑煮の中身を聞くことがある。彼等は異口同音に「普通です!」と答えていたが、その中身の違いに一同が驚く。

この習俗の違いは、些細なことではあり、多数派が少数派を排除することは、まずない。しかし、まちなかでの物事の決め方では、同化を強制するのではなく、反対意見を汲み取り、それを出来るだけ認めるようにつとめること、少数者による意思を尊重しつつ、それが多数決によって結果的に退けられることの痛みを多数者が「責任」として感じることを求められる。勿論、今日、問題として指摘されるような“わがまま”と見



分けがつかなくなった「自由」は、社会を内部から腐敗させることになり、十分な注意が必要なことは言うまでもないが…。学校へ、会社へ、地域社会への一年生諸君、“民主主義の両刃の剣”をうまく駆使できる術を磨いていきましょう。

### 第26回 アイボリー・フォーラム

講師：特定非営利活動法人 市民活動情報センター 代表理事 今瀬 政司氏

日時：4月20日(火)午後6時半から 会場：ホテル・アイボリー / 参加費：1,000円

NPOと自治と協働  
～市民主権・地域主権の  
確立をめざして～

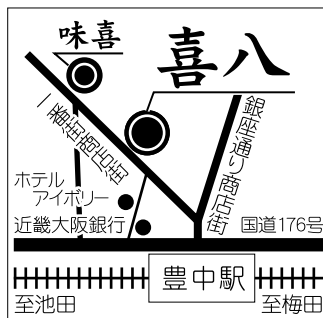
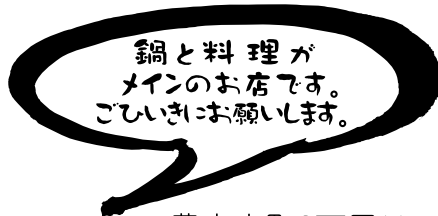
午後5時  
4月12日(月)

# 新規 オープン

ドリンク無料

鍋、お造り、天ぷら 一品料理を豊富に揃えています。

5月12日まで



営業時間:PM 5 - PM10 (ラストオーダー)  
定休日:日曜日

豊中本町3丁目14-7  
ギャラクシービルB1  
TEL:06-6853-8755